

## 《企業紹介》

同社は、海外大手金融機関での勤務経験を有するベトナム人が集まって2007年に起業した証券会社である。当初から競合他社とは一線を画し、リサーチ主導による国内外の機関投資家向け証券仲介業務と投資銀行業務を軸に地歩を固めてきた。近年では証券取引のデジタル化をチャンスとみて、個人投資家への浸透も積極的に進めている。所得水準向上に伴ってベトナムの株式投資家の裾野が広がっているが、2025年のホーチミン証券取引所の取引シェアは6.55%で4位と、前年の5位から順位を上げている。長年培った強みを生かし、ベトナム証券市場において存在感のある大手総合証券会社となっている。

## 《2026年1-3月期業績》

2026年1-3月期の営業収入は前年同期比65.3%増の1.4兆VND（ベトナムドン）だった。2025年4-6月期以降、3四半期連続で大幅な増加を記録している。資産関連収入は同51.2%増の6,360億VND、証券仲介業務関連収入は同79.1%増の7,702億VNDとなっている。資産関連収入の増加は、取引高の増加が牽引役となったとみられる。証券仲介業務関連収入の増加は、自社の強みを活かし、富裕層や法人顧客の取り込みを順調に進めた結果、顧客基盤が拡大したことが寄与したとみられる。委託手数料収入は同128.0%増の3,399億VND、貸付金等からの収入は同61.3%増の4,145億VNDといずれも大きく伸びている。

営業費用は同101.3%増の6,318億VNDと、営業収入の増加ペースを上回る増加となった。資産関連収入に対応する費用が同168.8%増の4,525億VNDとなったことが影響している。この増加は金融資産売却損失が同330.0%増の4,554億VNDと増加したためである。資産売却益4,701億VNDをなお下回っているが、売買頻度が増える一方、利幅の比較的少ない取引がトレーディングの中心になったことが影響したとみられる。一方、証券仲介業務関連収入に対応する費用は同23.3%増の1,793億VNDとなり、証券仲介業務関連収入の増加ペースを大きく下回っている。顧客獲得競争に要する費用負担が軽減し始めた可能性がある。

以上の結果、純営業収入は同44.2%増の7,746億VNDとなった。顧客向けの貸付金増加を借入金で賄ったために金融費用が同86.2%増の3,247億VNDに増加したほか、一般管理費が同103.0%増の460億VNDとなったため、営業利益は同18.8%増の4,039億VNDとなった。税前利益は同13.7%増の4,039億VND、純利益は同15.6%増の3,407億VNDとなった。

同社は2026年12月期の業績について、営業収入を前期比31.0%増の6兆5,250億VND、税前利益を同41.2%増の2兆3,000億VNDと計画している。2026年1-3月期実績の計画に対する進捗率は営業収入が22%、税前利益が18%となっている。概ね計画通りの進捗状況といえるが、税前利益の進捗状況がやや遅れている点、証券仲介業務の採算改善などを考慮すると、資産関連業務の採算悪化は想定外だった可能性がある。四半期決算は振れ幅が大きい点に注意が必要だが、今後の四半期決算で状況を注視する必要があるだろう。

### ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会  
主な事業 金融商品取引業

一般社団法人日本投資顧問業協会

有効期限作成日より180日

News20260428

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。

図表1 四半期業績の推移(単位 十億VND)

	2025年1-3月期		2025年4-6月期		2025年7-9月期		2025年10-12月期		2026年1-3月期	
		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)
営業収入	850.9	5.5	1,159.7	26.6	1,443.3	48.1	1,526.3	52.8	1,406.5	65.3
資産関連収入	420.7	-3.9	672.7	40.2	742.9	30.3	841.2	56.0	636.0	51.2
証券仲介業務関連収入	430.0	16.7	486.8	11.9	699.6	73.1	684.9	49.1	770.2	79.1
その他	0.2	125.7	0.1	-81.6	0.8	928.6	0.2	-42.2	0.2	-0.4
営業費用	313.8	-15.2	772.3	114.9	685.5	46.4	619.4	19.1	631.8	101.3
資産関連収入に対応する費用	168.4	-7.2	600.4	187.0	421.7	57.9	389.2	1.4	452.5	168.8
証券仲介業務関連収入に対応する費用	145.5	-22.9	171.9	14.5	263.8	31.2	230.2	69.3	179.3	23.3
その他	0.0	-	0.0	-	0.0	-	0.0	-	0.0	-
純営業収入	537.1	23.1	387.4	-30.4	757.8	49.7	906.9	89.3	774.6	44.2
一般管理費	22.7	-24.8	26.8	-21.7	41.6	-13.0	53.8	65.8	46.0	103.0
金融費用(マイナスは収入)	174.4	-2.3	149.4	-17.6	197.2	1.8	309.6	60.1	324.7	86.2
営業利益	340.1	49.4	211.3	-38.0	518.9	96.1	543.5	114.6	403.9	18.8
税前利益	355.1	56.1	211.5	-38.5	518.9	96.1	543.7	114.6	403.9	13.7
純利益	294.9	49.1	183.9	-34.1	420.3	95.2	442.9	102.8	340.7	15.6

注1 営業収入の分類は会社データをもとに当社が独自に行っている。資産関連収入は証券の売買益・評価益や保有証券からの利息・配当金、証券仲介業務関連収入は委託手数料や証拠金取引の貸付金利息、引受手数料、コンサルタント手数料が含まれる

注2 営業費用の分類は会社データをもとに当社が独自に行っている。トレーディングは各種売買損、評価損及び取引コスト、サービスは対応コストや証拠金取引の貸倒費用が含まれるが、支払利息は含まれない

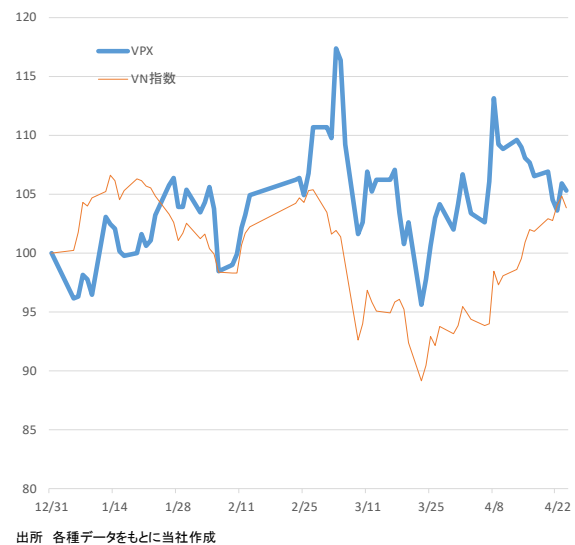
出所 会社資料をもとに当社作成

## 《株価の動向》

同社の株価とVN指数を2025年末の終値を100としてそれぞれを指数化したものが図表2である。同社の株価は、VN指数を若干アウトパフォームして推移していたが、3月下旬以降はVN指数の上昇に対して同社の株価は下落傾向が続き、そのパフォーマンス差はなくなっている。4月24日終値時点の2025年末比上昇率はVN指数の4%に対し、同社の株価は5%の上昇となっている。また、4月24日終値27,000VNDで計算した時価総額は30.9兆VNDで、これは2025年12月期実績の純利益1.3兆VNDの24倍となっている(以上、3月26日権利落ちの1株につき0.35株の株式分割考慮済み)。

2026年9月にFTSE ラッセルによる市場格上げが実際のオペレーションに入る。流動性の改善によって海外投資家のベトナム株式市場に対する関心は高まるだろう。同社は、創業以来強化してきたリサーチ部門を武器に業績を拡大することが期待できる。

図表2 株価推移



### ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会  
 主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より180日

News20260428

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。